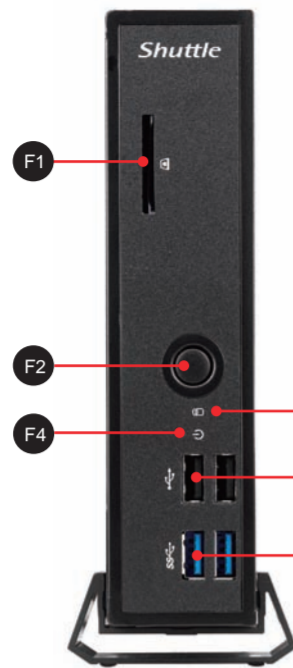




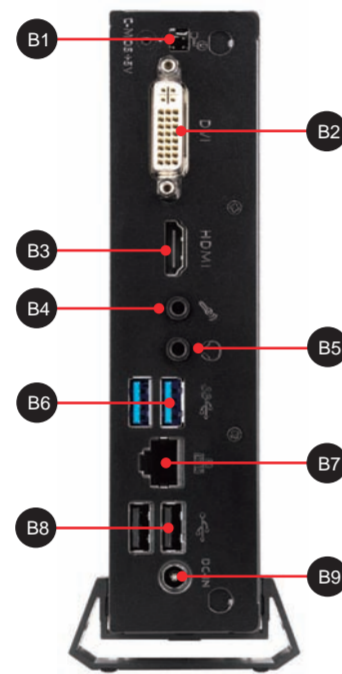
正面パネル

- F1. SDカードリーダー
F2. 電源スイッチ
F3. HDD LED
F4. 電源LED
F5. USB2.0 ポート x2
F6. USB3.0 ポート x2

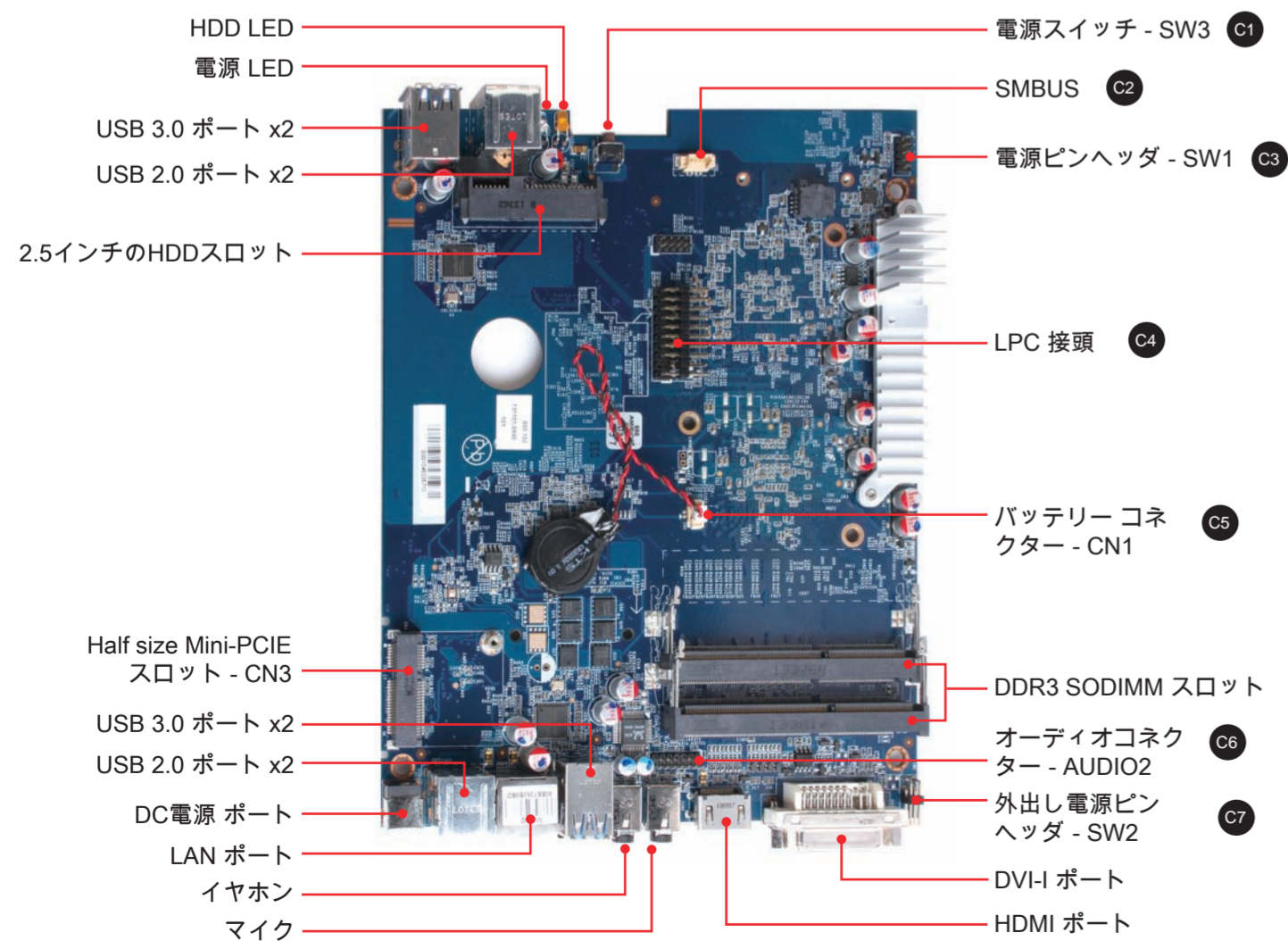


背面パネル

- B1. CMOS & 外出し電源ピンヘッダ
B2. DVI-I ポート
B3. HDMI ポート
B4. マイク
B5. イヤホン
B6. USB3.0 ポート x2
B7. LAN ポート
B8. USB2.0 ポート x2
B9. DC電源 ポート

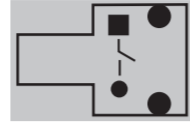


メインボード図

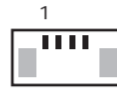


ジャンパ設定

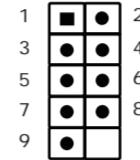
- C1 電源スイッチ
ピン割り当て (SW1):



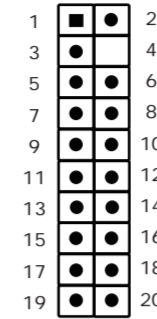
- C2 SMBUS
ピン割り当て (CN6):
1=SMBCLK_SB
2=SMBDATA_SB
3=+5V
4=GND



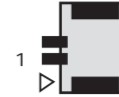
- C3 電源ピンヘッダ
ピン割り当て (SW1):
1=+HD_LED
2=PWR_LED
3=-HD_LED
4=GND
5=RST_SW
6=PWR_SW
7=GND
8=GND
9=NUUL



- C4 LPC
ピン割り当て (TPM1):
1=TPM_33M
2=GND
3=FRAME
5=SIORST
6=NC
7=LAD3
8=LAD2
9=+3.3V
10=LAD1
11=LAD0
12=GND
13=NC
14=NC_ID
15=+3.3VS
16=SERIRQ
17=GND
18=CLKRUN_NC
19=PD#_NC
20=NC_SUSCLK_R



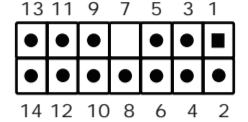
- C5 バッテリー コネクター
ピン割り当て (CN1):
1=V_BAT
2=GND



- C7 外出し電源ピンヘッダ
ピン割り当て (SW2):
1=PWRSW-
2=+5V
3=GND
4=Clear Cmos



- C6 オーディオコネクター
ピン割り当て (Audio2):
1=PULL AGND 2=LINE-R
3=N/C 4=LINE-L
5=PULL AGND 6=FRONT_L
7=N/C 8=FRONT_SENSE
9=PULL AGND 10=FRONT_R
11=BK_AUDIO-JD 12=MIC1_R
13=AGND 14=MIC1_L



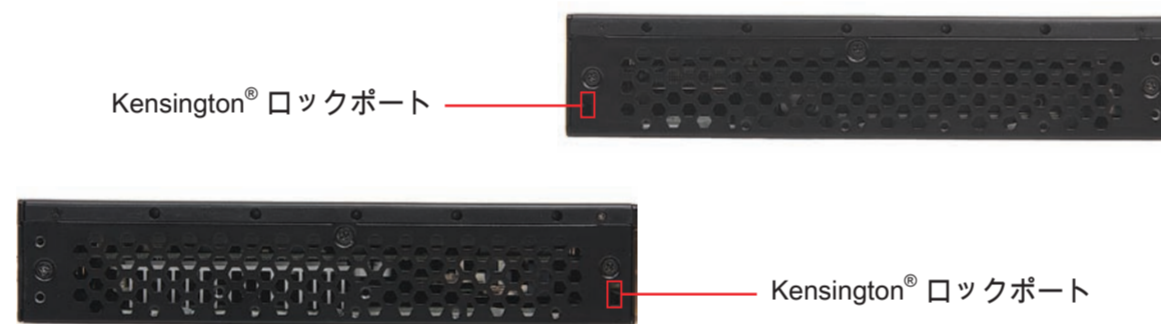
安全に関する情報

Shuttle XPC. をセットアップする前に、次の注意事項をお読みください。

注意

バッテリーを間違えてセットすると、このコンピュータが損傷する原因となります。交換する際は、Shuttle が推奨するバッテリーと同じものまたは同等のものだけを使用するようにしてください。使用済みバッテリーは、メーカーの指示に従って処分してください。

左側/右側パネル



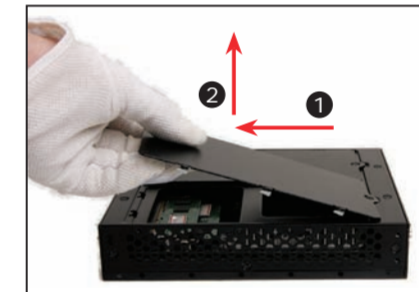
A. 取り付けの開始

- ▲ 安全のために、ケースを開ける前に電源コードを外してください。

1. カバーにある2つのネジを外します。

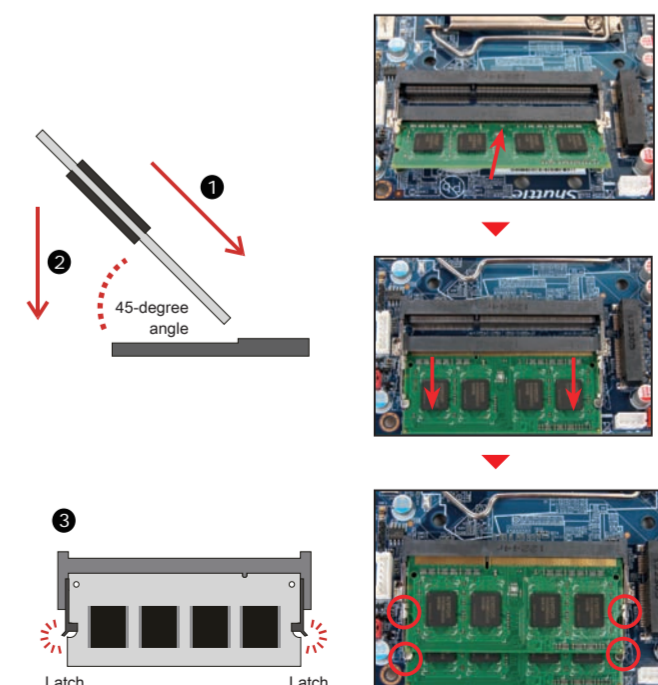
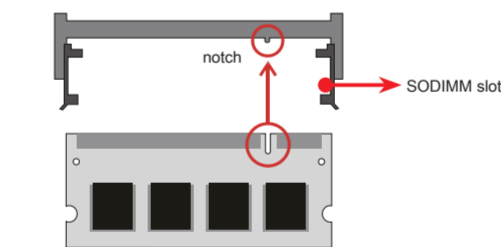


2. カバーを後ろと上方向にスライドさせます。



B. メモリーの取り付け

1. SoDIMM にメモリーを取り付けます。
2. 下図の通り、切り欠けに合わせます。
3. メモリーを45°の角度から押し入れます。
4. 押し入れた後に、メモリーを倒すように押し込むとロックがかかります。



5. 必要に応じて、追加のDDRモジュールを繰り返し取り付けます。

C. その他コンポーネントの取り付け

1. ネジを緩めてシャーシからラックを外して下さい。



2. HDDをラックに置き、横からネジで締め付けます。



3. シャーシの中にHDDを設置して、SATAとSATA 電源コネクターに差し込むまで右に押してください。

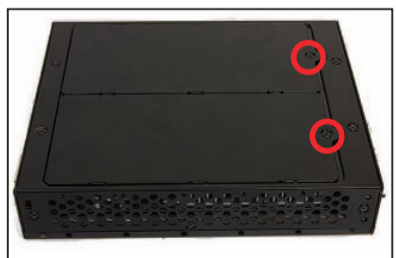


4. 再びねじを固定してください。



D. 完了

1. カバーを元に戻し、ネジを再び取り付けます。



2. これで、完了です。

- ▲ 最適化された BIOS 値をロードしてください。
▲ 操作位置:
1) 機器は、DVIポートが上面に来る形で垂直の状態になつていなければいけません。
2) 付属の足部分もしくはVESAマウントを使用して下さい。